

人社系紀要の オープンサイテーションの試み： 「京都大学大学院教育学研究科紀要」 「人文學報」

西岡 千文（京都大学附属図書館）

京都大学図書館機構オープンアクセス推進事業(2016-2021)成果報告会
「オープンアクセスによって広がる教育・研究の可能性」



京都大学
KYOTO UNIVERSITY



引用データのオープン化

引用データは、研究評価、研究プロセスの理解、図書館の蔵書形成など様々な目的で利用されている [Smith 81]

しかし、自由かつ機械可読なアクセスの実現は遅れている

- 引用データの整備のためのノウハウやリソース(予算、人材)不足
- 複雑なライセンスでの保護

近年、引用データのオープン化が進展している

I4OC (Initiative for Open Citations) などの取り組みによって、多くの出版社が引用データのオープン化を実施

Smith, L. C.: Citation analysis, Library Trends, Vol. 30, No. 1, pp. 83–106 (1981).

オープン・サイテーションとは？ [1/2]

オープン・サイテーションの定義 [Peroni & Shotton 18]

以下の3つの原則 (“SSO Principles”)を満たす引用データはオープン・サイテーション(OC)である。

- 構造的(Structured) : RDF等の機械可読なフォーマットで表現されていること
- 分離可能(Separable) : 引用データが記載されている引用元文献にアクセスしなくても、引用データを入手可能であること
- オープン(Open) : 無償でアクセス可能であり、CC0等のライセンスが与えられており再利用に際して制限がないこと

オープン・サイテーションとは？ [2/2]

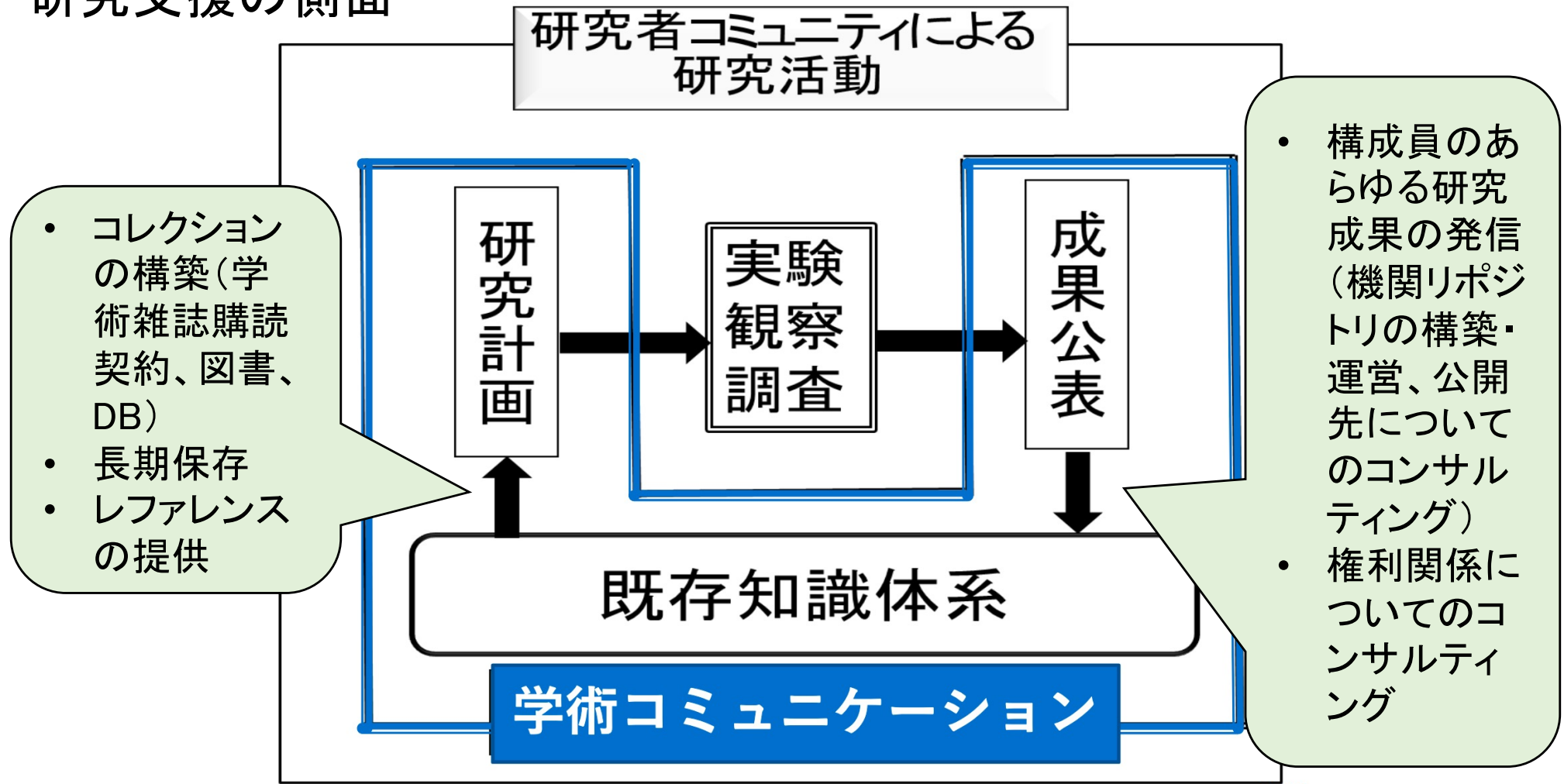
さらに、引用データにて引用元・引用先となっている文献は以下の2つの原則を満たさなければならない。

- 識別可能 (Identifiable) : DOI等の識別子によって識別可能であること
- 入手可能 (Available) : 識別子を利用することで文献の基本的なメタデータを入手可能であること
さらに、このメタデータもSSO原則に沿っていること

S. Peroni and D. Shotton (2018). Open Citation: Definition. <https://doi.org/10.6084/m9.figshare.6683855>

図書館とオープン・サイテーション

研究支援の側面



倉田敬子. (2021). 研究データ公開が学術コミュニケーションにもたらす変化. 2020年度第1回J-STAGEセミナー.
https://www.jstage.jst.go.jp/static/files/ja/pub_20200828_Seminar01.pdf

オープン・サイテーションの試行

学内の紀要を対象として、オープン・サイテーションを試行

試行の対象とした紀要

- 京都大学大学院教育学研究科紀要
- 人文學報

- 紀要は、特に人文社会学系分野において重要な研究成果の公表の場であり、機関リポジトリが主たる公開場所として利用されていることが多い。オープン・サイテーションはあまり進んでいない。
- 多くの機関リポジトリでは引用先文献へのリンクは表示されていない。表示することによって、利用者に対して知識体系を提示することができ、研究支援につながる。

試行の手順

引用データの組織化(「構造的」かつ「分離可能」にする)

各紀要論文の註や参考文献を参照し、その紀要論文の引用データを組織化する

引用データの公開(「オープン」にする)

- 文献のメタデータ(ハーベストされることにより流通?)
- Wikidata
- OpenCitationsのCROCI

引用データの利活用

- 機関リポジトリ(IR)で表示することにより、研究の検証可能性の向上に貢献

引用データの組織化 [1/2]

仕様書を作成して、引用データの作成を外注した

入力をお願いした項目

入力項目		説明
引用元文献	識別子	引用元文献の識別子を入力する。人文學報であればDOI、京都大学教育学研究科紀要であればハンドルシステム識別子を入力する。
	種別	JPCOARスキーマの資源タイプに沿って文献の種別を入力する。
	著者	著者、編著者、訳者等を”；”で区切って入力する。
	タイトル	文献のタイトルを入力する。
引用先文献	雑誌/学会	逐次刊行物に収録されている際には、その文献が掲載されている雑誌名を入力する。会議発表論文である場合には、学会名を入力する。 文献の種別が図書(部分)(例:特定の章)である場合には、文献が収録されている図書のタイトルを入力する。

引用データの組織化 [2/2]

入力項目	説明
引用先文献 巻	逐次巻号物に収録されている場合に、その文献が掲載されている巻を入力する。
号	逐次巻号物に収録されている場合に、その文献が掲載されている号を入力する。
頁番号	逐次巻号物に収録されている文献や、図書(部分)である際に、開始頁番号と終了頁番号を入力する。
出版者	出版者を入力する。
識別子	文献が図書、図書(部分)である場合には、ISBNを入力する。インターネット上で公開されている論文、学位論文である場合には、DOI、ハンドルシステム識別子といった永続的識別子を入力する。
リンク先URL	図書、図書(部分)である場合には、その図書のCiNii BooksのURLを入力する。CiNii Booksで見つからない場合には、国立国会図書館サーチ、WorldCatにおけるその文献のURLを入力する。インターネット上で公開されている論文や学位論文である場合には、DOI等のURLを入力する。オンラインで公開されていない場合には、その文献のCiNii ArticlesのURLを入力する。

オープン・サイテーションの定義

引用データの3つの原則(SSO原則)

- **構造的(Structured)**: RDF等の機械可読なフォーマットで表現されていること
- **分離可能(Separable)**: 引用データが記載されている引用元文献にアクセスしなくても、引用データを入手可能であること
- **オープン(Open)**: 無償でアクセス可能であり、再利用に際して制限がないこと

引用データの引用元・引用先となっている文献の2つの原則

- **識別可能(Identifiable)**: DOI等の識別子によって識別可能であること
- **入手可能(Available)**: 識別子を利用することでデータを入手可能であること
さらに、このメタデータもSSO原則に沿っている

引用先文献が識別子によって識別可能でなければならない

引用先文献の種別

- 特に人文學報では引用先文献の種別が多岐にわたる
- 識別子がない引用先文献が多い

両紀要で図書(部分)や図書
が大きな割合を占める

	教育学研究科紀要		人文學報	
	件数	識別子あり	件数	識別子あり
図書(部分)	305	305 (100.00)	229	101 (44.10)
図書	282	282 (100.00)	297	175 (58.92)
学術雑誌論文	218	218 (100.00)	200	90 (45.00)
紀要論文	52	52 (100.00)	26	7 (26.92)
インタラクティブリソース	26	26 (100.00)	0	0 (-)
逐次刊行物	12	12 (100.00)	0	0 (-)
その他	12	8 (66.67)	33	8 (24.24)
不明	0	0 (-)	81	1 (1.23)
記事	2	2 (100.00)	74	39 (52.70)
新聞	8	8 (100.00)	57	1 (1.75)
博士論文	4	4 (100.00)	13	2 (15.38)
報告書	2	2 (100.00)	10	0 (0.00)

KURENAIでの引用データの表示

Permalink: <https://doi.org/10.14989/262802>

<https://doi.org/10.14989/262802>

このアイテムのファイル:

ファイル	記述	サイズ	フォーマット
116_85.pdf		1.12 MB	Adobe PDF

[見る/開く](#)

タイトル: <論文>二重の神話化: 日本における『戦艦ポチョムキン』上映史

その他のタイトル: <Articles>The Double Mythization: A History of Screenings of Battleship Potemkin in Japan

著者: 小川, 佐和子 [KAKEN 研究者検索](#)

著者名の別形: Ogawa, Sawako

キーワード: 『戦艦ポチョムキン』
自主上映
映画サークル
モンタージュ
社会主義リアリズム
Battleship Potemkin
Independent Screenings
Film Society
Montage
Social Realism

発行日: 31-Mar-2021

出版者: 京都大学人文科学研究所

DOI: [10.14989/262802](https://doi.org/10.14989/262802)

URI: <http://hdl.handle.net/2433/262802>

出現コレクション: [第116号 <特集: 山本明コレクション>](#)

- 参考文献: 佐藤, 洋 (著). "映画を語り合う自由を求めて: 映画観客運動史のために". 観る人、作る人、掛ける人. 岩波書店, 2010, p. 13-41. <https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB03396328>
- 鳥羽, 耕史 (著). "同伴者のポチョムキン: 山村聡『蟹工船』が描いたもの". 「戦後」日本映画論: 一九五〇年代を読む. 青弓社, 2012, p. 80-98. <https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB10579339>
- 寺田, 真彦 (著). "ラジオ・モンタージュ". 寺田真彦随筆集 第三巻 俳句と芸術. 岩波書店, 1963, p. n/a. <https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN01529560>
- 溝口, 健二 (監督). 東京行進曲. 1929. <https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA52656508>
- 鈴木, 重吉 (監督). 何が彼女をさうさせたか. 1930. 何が彼女をさうさせたか
- 岩本, 賢児 (著). ロシア・アヴァンギャルドの映画と演劇. 水声社, 1998. <https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA35713955>
- 岩本, 賢児 (著). サイレントからトーキーへ. 森話社, 2007. <https://ci.nii.ac.jp/ncid/BA83637009>
- 今村, 太平 (著). 日本芸術と映画. 菅書店, 1941. <https://ci.nii.ac.jp/ncid/BN15263268>
- 扇, 千恵 (著). "『戦艦ポチョムキン』の日本上陸 (含 ソヴェート映画翻訳文献一覧(1928-1958))". むらざ. no. 17, 1998, p. 158-167. <https://ci.nii.ac.jp/naid/40004524393>

まとめ

京都大学図書館機構における紀要論文のオープン・サイテーションの試行

- 引用データの組織化
 - 引用先文献の種別が多い
 - 引用先文献は、識別子がないものが多い
- 引用データの利活用
 - 京都大学学術情報リポジトリ(KURENAI)で引用先文献のリンクの表示により、研究の検証可能性の向上に貢献
 - クリック数の観察 → 学術情報探索行動に与える影響の調査
- 引用データの公開(予定)
 - Wikidata、OpenCitationsの基盤での公開
 - JaLC(JaLC REST APIにより引用データの取得が可能)